

2025/1/13

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-5859

先週のマーケット動向(1月6日~1月10日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,470.0	1,477.6	1,449.1	1,465.0	▲3.5
JPY/KRW	9.3324	9.3528	9.1723	9.2520	▲0.086
KOSPI	2,453.30	2,535.87	2,446.82	2,515.78	+73.86

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は下落後下げ幅を縮小する動き。週初1,470.0ウォンでオープン後、前週末の米経済指標を受けて一時1,477ウォン付近まで上昇するなど乱高下するも、その後は1,470ウォン近辺での推移が続いた。翌7日以降週半ばは外国人投資家による韓国株式市場への資金流入圧力が強まり、ウォン買いが進行。一時1,450ウォンを割れる場面も見られた。しかし、週後半にかけては下げ幅を縮小する動き。トランプ氏の大統領就任を控え、米国による関税引き上げに関する報道による米インフレ圧力の再燃が意識され、米金利が底堅く推移する中でドル買い圧力が強まった。結局前週末比▲3.5ウォンの1,465.0ウォンでクローズした。(韓国時間15:30)

今週の見通し

先週末の良好な米雇用統計を受けて、米利下げ期待が後退し米金利は上昇。短期的にドル相場は底堅い推移が継続するものと想定される。今週は16日に韓国中銀会合を控える。10月、11月会合と2回連続での利下げを行っており、今回会合は当初政策金利の据え置きが想定されていたものの、政情不安や旅客機事故などをを受けて国内の消費センチメントが悪化しており、景気下振れリスクが懸念され、足許25bpの利下げの可能性が高まっている。。実際に利下げが決定されると、韓米金利差の更なる拡大を受けてウォン安が一段と進みやすい地合いとなろう。上記より、今週は韓国中銀会合を見極めつつ、ドル/ウォンは底堅い推移の継続を予想する。

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1460 ~ 1490	9.20 ~ 9.50	156.0 ~ 159.0

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 13日(月) 中 12月 貿易収支
- 14日(火) 日 11月 国際収支
米 12月 PPI
- 15日(水) 韓 12月 失業率
米 1月 NY連銀製造業指数
米 12月 CPI
- 16日(木) 米 1月 失業保険新規申請者数
米 12月 小売売上高
韓 BOK 政策金利発表
- 17日(金) 中 12月 小売売上高
中 12月 鉱工業生産
中 4Q GDP
米 12月 鉱工業生産
米 12月 住宅着工件数
欧 12月 CPI 確報値

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。